

# 深径覚の検査 (三柱深径覚計:三杆法)例)コーワ AS-7JS1

目的

日常視における遠近感の測定

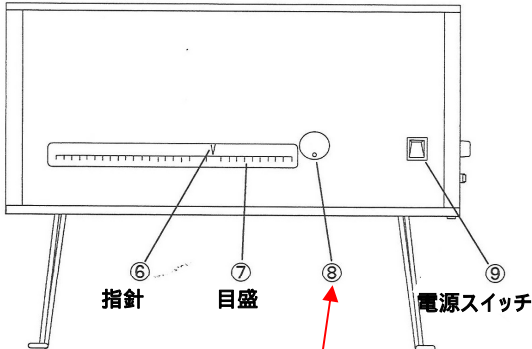
## 準備物 三柱深径覚計

例)コーワ AS - 7JS1



本体側面にある目盛り 0 の位置までの距離が 2.5m となるように顎載せを設置する

本体 電源スイッチとコントロールボックス電源スイッチをONにする



本体をマニュアル操作にし、ノブを引き出すと手動となる。

スイッチにて必要なモードを選択する

50・25 mm /sec (移動速度) スイッチ (押すたびにスピードが切替わり選択されている方が点灯する)

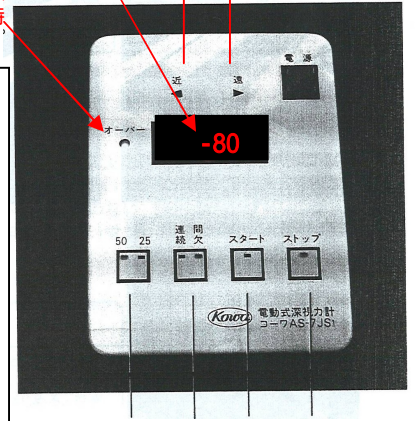
連続・間欠スイッチ (押すたびに連続・間欠が切替わり選択されている方が点灯する。連続になっている時はリモコン又はコントロールボックスのストップスイッチを押している時のみ停止し後は自動的に前後進する。スイッチを離してから 2 秒間、カウンター数字は停止し、この時にリモコン又はストップスイッチを再度押しても停止しない)

スタート ストップスイッチ ( が間欠になっている場合にリモコン又はストップスイッチで停止し、 スタートスイッチで移動する)

移動杆が前後 80mm 以上ずれた時点灯

## コントロールボックス

数字の±は0の位置より離れる側を+、近づくと側を-表示  
被検者に近づいているか遠ざかっているかの表示



被検者に、三杆のうち中央の杆だけが前後に移動するので、三杆が横一列に並んだと思ったら、すばやくリモコンスイッチを押すように指示する

連続で 3 回測定する

## 結果・記載例)

三杆法	
1.	+ 15mm
2.	+ 17mm
3.	+ 16mm
<hr/>	
平均	+ 16mm

実際は±は関係なく、0からの誤差の平均を出す。

## 判定基準)

合格: 3 回の平均値が ± 20mm 以内

## 判定例)

正常範囲内

自分の結果を書いておこう!

図) 説明書より抜粋